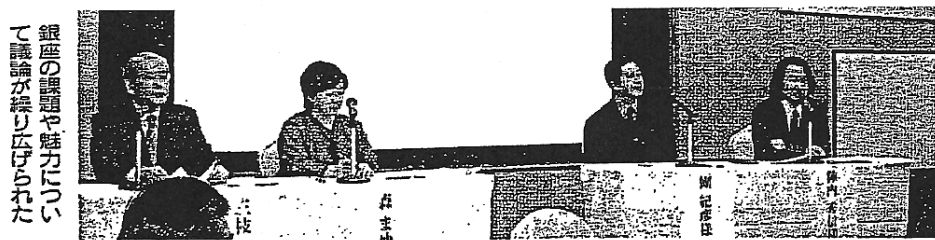


銀座 座 街 づ くり 会 議  
銀座4-6-1銀座三和ビル3F TEL:03-3567-1535 FAX:03-3563-0236 E-MAIL:ga-tpc@ginza.co.jp

- 銀座街づくり会議では、去る5月24日（月）、銀座街づくり会議発足シンポジウム「都市の街並みと建築」（共催／銀座街づくり会議・銀座通り連合会、後援／全銀座会・中央区・国土交通省東京国道工事事務所）を開催しました。
- シンポジウムの詳しい内容は、近日中に皆様にお知らせします。
- 翌日付け、読売新聞および東京新聞に紹介記事が掲載されましたので、早速お送りします。
- 銀座街づくり会議では、今後、銀座の皆様へのお知らせを、随時ファックス通信として出していく予定です。



銀座の課題や魅力について議論が繰り広げられた

## 「銀座らしさ」って何？

### 未来像探るシンポジウムに300人

銀座の未来像を探るシンポジウム「都市の街並みと建築」が二十四日、中央区発足させた団体「銀座街づくり会議」が企画。同会議代表の福原義孝・資生堂名誉会長のあいさつの後、建築家の植文彦、団紀彦、陣内秀信・法政大学教授、作家の森実ゆみ、サエグサ社長の三枝進の各氏が「銀座らしさ」とは何か、約三百人の参加者を前に熱弁を振るった。

銀座では最近、これまでより方では対応しきれない再開発計画などが浮上。これらの問題に取り組むため、同会議が設立された。専門家を集めたワーキングチームを作り、街づくりのガイドライン策定なども行っていく予定だ。

植文彦は、都市の道空間をテーマにヨーロッパの都市などを例に挙げ、道が都市を形作る重要な要素であること指摘。ローマの下町で、道ははみ出たタイムヤーツルで市民が食事を

楽しむ情景が忘れがたいと話し、道空間を充実させ、都市を権力やお金を持たない人にとっても愉快な場所にするのが我々の大きな課題とした。

三枝さんは、「銀座トラ文化に象徴されるように、銀座の魅力は歩いて回れる損得がある。回遊性や歴史文化を生かす形の開発が必要」と語った。

森さんは、通りの全面がそのい、夕暮れの色が見える街並みがいと語り、江戸時代からの街の記憶の継承を、街づくりの基本にすべきだと注文を付けた。

## 銀座街づくり会議シンポ

### 「歴史と文化大切に」

都内各所で大規模開発が進められる中で、銀座のこれからを考える「銀座街づくり会議」（福原義孝代表）の発足シンポジウムが二十四日、中央区銀座で開かれた。同会議は、銀座らしさを守ろうと商店などが加盟する銀座通り連合会と、町会など二十五団体が加盟する全銀座会が三月に発足させた。

はじめに建築家植文彦さんが講演し、パリやニューヨークを例に「魅力的な街には、通りに人間的な息づかいがあり、くつろげる空間がある」と紹介した。

建築家団紀彦、作家森実ゆみ、銀座通り連合会理事の三枝進の各氏らが出席したシンポジウムでは、銀座の魅力について「青空が見え、にぎわいや街並みを楽しみながら歩ける」「連続性があり、歴史や文化が感じられる」などが挙げられた。

建物の多くが建て替える時期を迎えていることには「超高層ビルによる二十世紀型の再開発は威圧的で似合わない。歴史と文化を大切にすべきだ」として、中層の建物を中心にした今の景観に合う開放的な街づくりを提言した。

会場には、銀座を愛する約三百人が集まり、質疑応答では「銀座ファンクラブをつくらせて活動の輪を広げてみては」との意見も出された。

▲ 2004.5.25 読売新聞

2004.5.25 東京新聞

# 銀座を残したい



氏らによるパネルディスカッション

## 銀座街づくり会議発足で記念シンポ

伝統ある銀座から文化を残していきたい。

東京・銀座の銀座通連合

会りが設立した「銀座街

づくり会議」が24日、同

会議の発足を記念したシ

ンポジウムを開いた。テ

ーマは「都市の街並みと

建築」。60年代に完成し

た建物が多い銀座地区で

は、これから本格的な更

新期を迎える。銀座の持

つ伝統や街並みを生かし

た街づくりとはどうある

べきなのか。建築家の榎

文彦氏や團紀彦氏が参

加し、これからの銀座の街づくりについて議論を交わした。会場には、3

た地元組織が必要と判

断、同会議を立ち上げた。

「自己完結的な超高層で

## 建築は街のイメージ商品

の期  
完成  
代更  
60年  
街並み

## 伝統生かし質の高い街へ

00人近い参加者が詰め

断、同会議を立ち上げた。

大教授をコーディネータ

世紀型の再開発事業では

かけ、熱心に耳を傾けて

断、同会議を立ち上げた。

大教授をコーディネータ

世紀型の再開発事業では